



2022年1月13日

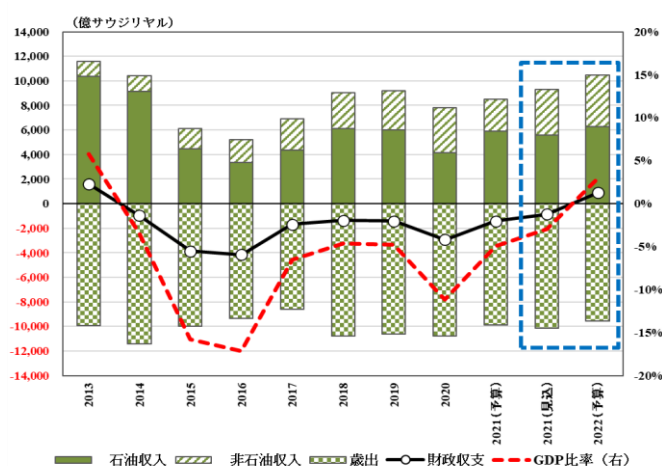
改善するサウジアラビア財政～2022年に黒字復帰へ

公益財団法人 国際通貨研究所
開発経済調査部 主任研究員 九門康之

2022年のサウジアラビアの財政収支は、9年ぶりに黒字復帰する見通しだ。2022年予算は、原油価格が持ち直していることなどを背景として国内総生産（GDP）の3%に相当する900億サウジ・リヤル（240億ドル）の黒字と、当初の2023年財政収支均衡から1年前倒しで財政正常化を実現する計画である（図表1）。

2017年に就任したジャドアーン財務大臣は、財政均衡運営に軌道修正した。「財政均衡化プログラム」を策定し、2023年までの収支均衡を目標としてきた。

図表1：財政収支推移



(注) 2022年の石油収入比率は2021年の見込み比率（60%）を使用
(資料) MOF、IMF データより国際通貨研究所作成

歳入は、前年実績比12%増の1兆450億サウジ・リヤルを見込む。背景は足元の原油市場価格が堅調に推移していることである¹。また、非石油収入拡大の目玉として導入

¹ 代表的な原油価格指標銘柄 West Texas Intermediate (WTI) の平均価格は2020年1バレルあたり39ドルに対し、2021年は68ドルであった。

した付加価値税（VAT）の影響が大きい。2021年の非石油収入に占める VAT は 1,600 億サウジ・リヤルと前年の 3 倍となった模様である²。歳出は、同 6%減と支出を抑制し緊縮財政とした。石油輸出代金を主とする財政収入に依存しない経済を構築するとの強いメッセージが込められている。

代わって、サウジアラビア経済運営の中心は、同国ソブリンウエルスファンド（SWF）であるパブリック・インベストメント・ファンド（PIF）に移行している。ムハンマド皇太子は、予算発表と同じタイミングで 2022 年の PIF による投資額を 1,500 億サウジ・リヤルとすると発表。これは、歳出額の 15%に相当する。PIF の特徴は、国内向け投資が資産の 6 割を占めている点で、他の湾岸産油国が海外投資に積極的であることと対照的である。サウジアラビア政府は 2030 年までに、総額 12 兆サウジ・リヤル、内 3 兆サウジ・リヤルを PIF が投資すると発表しており、PIF を核とした経済運営を推進する計画である。

サウジアラビア財政は、当面の歳入が安定していることと、歳出が抑制されていることから、収支が改善し黒字化が実現する可能性が高い。また、中期的には、石油輸出を継続しつつ、PIF が投資する民間部門の活動により、法人税などの税収を確保する計画である。いずれも、石油依存の側面はあるものの、単純な資金のばらまきからは脱却する方向にあり、財政の健全性は向上している。

以 上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

² サウジアラビア JADWA Investment 社資料による。